

(案)

第六次国有林野施業実施計画書

(中予山岳森林計画区)

計画期間 自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 11 年 3 月 31 日

四国森林管理局

目次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域.....	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量.....	1
	(1) 伐採造林計画簿.....	1
	(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等.....	1
	(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積.....	1
	(4) 伐採総量.....	2
	(5) 更新総量.....	3
	(6) 保育総量.....	3
3	特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積.....	4
4	林道の整備に関する事項.....	5
5	治山に関する事項.....	6
6	保護林及び緑の回廊の名称及び区域.....	7
	(1) 保護林の名称及び区域.....	7
	(2) 緑の回廊の名称及び区域.....	8
7	樹木採取区の名称、所在地及び面積.....	8
8	レクリエーションの森の名称及び区域.....	9
9	国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項.....	10
	(1) 森林共同施業団地の名称及び区域.....	10
	(2) 公益的機能維持増進協定の名称及び区域.....	10
10	その他必要な事項.....	10
	(1) 施業指標林、試験地等.....	10
	(2) フィールドの提供.....	10
	(3) その他.....	11

※ 本計画書内の集計表に関して共通する注釈
単位未満四捨五入により、計と内訳が一致しない場合がある。

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

機能類型の配置については、国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別添2「伐採造林計画簿」に示すとおりである。

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

施業群		面積	取扱いの内容	伐期齢
施業群	スギ分散伐区	95	育成単層林施業 概ね 5ha 以下	45 年
	ヒノキ分散伐区	169	〃 〃	50 年
	スギ長伐期	805	〃 〃	90 年
	ヒノキ長伐期	1,181	〃 〃	100 年
	複層林	87	育成複層林施業	80 年
	スギ長伐期複層林	68	〃	130 年
	ヒノキ長伐期複層林	117	〃	100 年
	択伐	706	天然生林施業	定めない
施業群設定外		6		
合計		3,234		

注：施業群設定外は試験地等である。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群分類	上限伐採面積	備考
通常伐期施業	27	スギ分散伐区、ヒノキ分散伐区、ぼう芽分散伐区
長伐期施業	104	スギ長伐期、ヒノキ長伐期
複層林施業	28	複層林、スギ長伐期複層林、ヒノキ長伐期複層林
天然林・その他施業	定めない	その他複層林、択伐

注：契約に基づいて主伐を実施する分収林については、水源涵養機能の發揮に支障がない限り、箇所ごとの伐採面積の合計が上限伐採面積を超えて定めることができる。

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	計		
山地災害防止タイプ	—	3,055 (19)	3,055				
自然維持タイプ	—	1,329 (13)	1,329				
森林空間利用タイプ	—	11,161 (84)	11,161				
水 源 涵 養 タ イ プ	スギ分散伐区	3,201	—	3,201			
	ヒノキ分散伐区	20,670	8,756 (48)	29,426			
	スギ長伐期	—	52,319 (297)	52,319			
	ヒノキ長伐期	—	50,943 (400)	50,943			
	複層林	—	3,568 (20)	3,568			
	スギ長伐期複層 林	1,667	1,328 (9)	2,995			
	ヒノキ長伐期複 層林	8,632	3,389 (25)	12,021			
	択 伐	—	1,607 (14)	1,607			
	施業群設定外	—	—	—			
計	34,170	121,910 (813)	156,080				
合 計	34,170	137,455 (928)	171,625	8,920	180,545	—	180,545
年 平 均	6,834	27,491 (186)	34,325	1,784	36,109	—	36,109

注：（ ）は、間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m³)

市町村名	林 地					林地 以外	合 計
	主伐	間伐	小計	臨時 伐採量	計		
久万高原町	34,170	137,455	171,625				
計	34,170	137,455	171,625				

注：臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ°	自然維持 タイプ°	森林空利用 タイプ°	快適環境 形成タイプ°	水源涵養 タイプ°	合 計
人工 造林	単層林造林	—	—	—	—	30	30
	複層林造成	—	—	—	—	15	15
	計	—	—	—	—	45	45
天然 更新	天然下種第1類	—	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	—	—	—	—	—	—
	ぼう芽	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	—
合 計		—	—	—	—	45	45

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ°	自然維持 タイプ°	森林空間 利用タイプ°	快適環境 形成タイプ°	水源涵養 タイプ°	合 計
保 育	下刈	10	—	—	—	183	193
	つる切	1	—	—	—	4	5
	除伐	8	—	—	—	58	66
	計	19	—	—	—	245	264

注：「0」は、単位未満の数値であることを表す。

3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積

(単位 : ha)

所在地(林小班)		面積
15	ろ 1、ろ 2、ろ 4、ろ 5、ろ 6	599.33
16	い 1、い 4、い 7、い 8、は 1、は 2、ち、ぬ 1、ぬ 2、る、わ	
17	い 1、い 2、へ、と	
18	は 4	
20	に	
21	ろ 1、は 1、は 2、は 11、は 12	
37	い 1、い 2、い 6、い 9、ろ 1、は 4	
38	わ 1、わ 3、よ 2	
39	い 7、ち 1、ち 2	
40	る	
42	い、は、に 1、に 2、に 3、に 4、に 5、に 6、に 7、る 1、る 2、 わ、わ 1	
43	い、い 1、は、に 1	
44	い 1、い 2、い 3、い 4	
75	に 4、に 5、に 8	
76	へ、と、り	
85	は 1	
86	い 2、は	
87	い 3、い 4、い 5、い 51、い 52	

4 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所（林班）	延長	備考
開設		該当なし			
基幹	改良	坂瀬	15～16、民有林	100	
		梅ヶ市	20、民有林	300	
		基幹計	2箇所	400	
その他	改良	父二峰	民有林	50	
		遅越	38、39、民有林	150	
		面河	3、12	150	
		鉄砲石川	8、12～14	100	
		金山	5、7	100	
		猪伏・77	77、民有林	50	
		上林・久万線	40、民有林	100	
		成鈴山	37	50	
		狼ヶ城	42～43	150	
		丸石山	67～69	150	
		ヨラキレ	87、民有林	100	
		大川	43	50	
		保土迫	4	50	
		遅越・38	38、39	50	
		ササミネ	民有林	200	
		河ノ子	1、民有林	100	
		その他計	16箇所	1,600	
改良計			18箇所	2,000	
合計			18箇所	2,000	

5 治山に関する事項

位 置(林班)	区 分	工 種	計 画 量
16、18、39	保安林の整備	その他 (森林整備)	25.14ha
[3~14]、[16~18]、 [42~43]、[44~46]	保全施設	溪間工	4箇所
合 計	保安林の整備	その他	25.14ha
	保全施設	溪間工	4箇所
		計	4箇所

注1：林班[]の区分は、事業評価の地区単位。

注2：保全施設の計は、溪間工・山腹工が重複する箇所は1箇所として集計した。

注3：災害復旧等緊急を要する場合には、計画箇所以外においても実行可能。

6 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

(単位：ha)

種類	名称	面積	位置 (林小班)	特徴等	備考
森林生態系保護地域	いしづちさん 石鎚山 けい系	保存地区 824.09	7は 8い2、ろ2 9ほ1 10い、は、ろ 11い1、い2、ろ、は、イ 13イ 14イ 17ろ1～ろ3、イ、ロ	約1,300mの標高差があり、温暖帯から亜寒帯までの林相の垂直分布を見ることができる。シコクシラベ、ダケカンバ、ブナ、ミズナラ、コハウチワカエデ、モミ、ツガ、ウラジロガシ等の多様な樹種とともに、希少な動植物種が生育・生息している。	
		保全利用地区 2,097.61	3は、に、ロ1～ロ3 4ろ、は、イ、ロ1、ロ2 5い1、ろ1、ろ2 6い、に1～に3、は、ろ、イ 7い1～い7、ろ 8い1、ろ1、イ1、イ2 9い、ろ、は、は1、に、ほ2、へ1、へ2、イ、ロ1、ロ2、ハ 12い1 13い1、は6～は9、に1、と 14い、ろ、は、に1～に5、ほ、へ1、へ2、ロ 15ほ1、へ1 16ほ1 17ほ1、ハ 18へ1、イ		
		計 2,921.70			
合計	1箇所	2,921.70			

注：森林生態系保護地域は、我が国の気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林を主体とする。「保存地区」と、保存地区に外部からの影響が直接及ばない緩衝の役割を果たす「保全利用地区」に区分している。

(2) 緑の回廊の名称及び区域

(単位：延長 km、面積 ha)

名称	延長	面積	位置 (林小班)	特徴等	備考
四国山地緑の回廊・石鎚山地区	10	62.57	15 ほ 2、～ 2 16 ほ 2 17 ほ 2 18 ～ 2 86 ほ、～ 1、～ 2	四国の脊梁に位置する石鎚山系森林生態系保護地域から白髪山天然ヒノキ(遺伝資源)希少個体群保護林等の保護林を連結することにより、森林の連続性を確保し、森林生態系の一層の保護・保全を図り、野生動植物の相互交流に資するなど生物多様性確保の観点から、より広範で効率的な森林生態系の保護・保全を目的として設定。	
合計	10	62.57			

7 樹木採取区の名称、所在地及び面積
該当なし。

8 レクリエーションの森の名称及び区域

(単位：ha)

種類	名称	面積	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然 休養 林	おもごしこく 面河・四国 カルスト	1,327.07	3は、に、ほ、 4ろ、は、5は、 6ろ、は、9い、 ろ、76に1、に2 77い、ろ、 86へ1、へ2	全国七霊山 の一つである 石鎚山と原生 的な天然林、こ れらを背景と した溪谷美と が調和した優 れた景観を有 する。 「森の巨人 たち100選」の トチノキ(77 ろ)	天然生林 施業	駐車場(県) 野営場 (国, 県, 町) 園地(国, 県) 宿泊施設 (町, 民間)		風景ゾーン
			8い1、ろ1、9は、 は1、ほ2、へ1、 へ2、12へ、13ろ、 14ろ、77は、に、 ほ、へ					風致探勝ゾ ーン
			76ほ 86ほ、と 9に		育成複層 林施業			風景ゾーン
			3い、ロ1～ロ3 4い、ロ1、ロ2、 5い、6い、9ロ1、11 ロ、ハ、 86イ1～イ4		雑地			風景ゾーン
			8イ1、イ2、9イ、 ロ2、ハ、14ロ、 77ロ		風致探勝ゾ ーン			
計	1箇所	1,327.07						
風 景 林	どうがもり 堂ヶ森	39.57	17ハ 18イ	笹生地と白 骨林との調和 がとれた森林 美が優れてい る。	雑地	歩道(国)		
計	1箇所	39.57						
合計	2箇所	1,366.64						

9 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる私有林野の整備及び保全等に関する事項

(1) 森林共同施業団地の名称及び区域

該当なし。

(2) 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし。

10 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

(単位：ha)

種類	名称	設定年	面積	位置 (林小班)	備考
施業指標林	複層林	平成4年	3.89	42と	中木には、ケヤキ(76年生)を残し、下木はヒノキ(36年生)を植栽している。複層林施業の推進を図るための指標として設定。
モデル林	複層林	平成12年	3.41	38ほ1～ほ3	公益的機能重視の森林施業をPRするため、複層林施業を推進するモデル林として設定。
溪畔保全プロジェクト林	(設定河川等) 鉄砲石川	平成26年	(設定延長) (m) 5,552	12い2、12ろ、 12は1、は2、 は3、12に、 12ほ、12へ、 12と、12ち、 13い2、13ろ、 13は1、は2、 は3、は4、 は5、13に2、 13ほ、13へ	溪畔周辺の水系への土砂流入の抑制、風致の維持、野生生物の生育・生息環境や移動経路の提供、種子や栄養分の供給、水域における日射の遮断等多くの機能を発揮する場所として設定。
次代検定林	スギ第2世代 精英樹大藪山 (西四国局20)	令和3年	0.42	40は12	スギエリートツリー(第2世代精英樹)間の人工交配苗の性能を比較、評価すること目的として設定。

(2) フィールドの提供

該当なし。

(3) その他

森林空間利用タイプのうち、レクリエーションの森等を除く区域の施業方法

(単位：ha)

位 置 (林小班)	面積	施業方法
3と1～と4、4に1～に3、5に1～に6、7に1、に6、に8、12ろ、は1～は3、と、13は1～は5、37ほ、39と、40わ	139.82	育成複層林施業
3い、と5、4い、5い2、7い2、12い2、に、ほ、ち、13い2、に2、ほ、へ、37へ、39へ、40か、44ろ、は、に、45は1、は2、へ、と	557.63	天然生林施業

注:ふれあいの森・その他森林空間利用林に設定している施業指標林、試験地を除く。